

和4年1月吉日

各位

野木沢地区まちづくり委員会  
委員長 近内光慶

## 野木沢地区まちづくり計画（総括）について

持続的な地域づくりのため平成21年石川町第5次総合計画によって設立された「まちづくり委員会」の取り組みについて総括いたしましたので、昨年引き続き報告させて頂きます。また、今後の野木沢地区デザインを策定するために皆様方のご意見等も伺いたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、ご意見は以下の方法でお願いいたします。

（意見はパブリックコメント方式で行いたいと思います）

1. 用紙の場合：野木沢自治センターへ郵送か持参でお願いします。（FAXでも可）
2. メールの場合：[nogisawa\\_center2@cap.ocn.ne.jp](mailto:nogisawa_center2@cap.ocn.ne.jp)
3. ホームページから：[お問い合わせ | 野木沢地区自治協議会 \(nogisawajiti.com\)](#)
4. お問い合わせ先：野木沢自治センター  
〒963-7837 石川町中野字水無 59  
電話：0247-26-4939 FAX:0247-26-3135  
Email：[nogisawa\\_center2@cap.ocn.ne.jp](mailto:nogisawa_center2@cap.ocn.ne.jp)

※ なお、ホームページからも閲覧することができます。

トップ>部会紹介—総務・地域づくり部会—PDF 石川町第5次総合計画（野木沢地区まちづくり計画総括表）

URL：[file31.pdf \(nogisawajiti.com\)](#)



# 野木沢地区まちづくり計画（総括）

## 地区の概要・特性

野木沢地区は、石川町の西北に位置し、中野・曲木・塩沢の三行政区からなり、西は矢吹町、北は玉川村に隣接する中山間地の地区です。JR水郡線野木沢駅、国道118号線が地区の西側を南北に走り、福島空港まで10km以内と交通の便に恵まれた地域です。地区面積は約10.6km<sup>2</sup>、その内、農地が約43%を占めていますが、国営母畑農地開発事業で開拓された農地が利用されていないところが多く、また転作事業の休耕田等で荒廃しているところが目に付くのが現状です。その他、山林・原野が約34%あり、比較的勾配の緩やかな里山の原形が辛うじて残っています。

歴史的には石川氏の面影を残す藤田城址、曲木城址等を見ることができます。また、県指定文化財の悪戸古墳群、町指定の曲木石造塔婆群の指定文化財もあり、小和清水をはじめ平安時代の女流歌人・和泉式部にまつわる地名や伝説も多く残っています。

## 地区の現状と課題

- 1 世帯数は少しずつ増加していますが、人口はわずかながら減少傾向を示しています。人口減少や少子高齢化は地域事業への理解と協力にも、今後支障が出るものと考えられます。
- 2 少子高齢化が進む中で地域事業、共同作業、伝統行事等への参加の減少が心配されます。
- 3 事業等の連携・共同開催、観光客(母畑温泉客等)・訪問者の積極誘致が必要です。
- 4 各種団体役員等のリーダーが不足している状況にあります。
- 5 将来に向けた地域事業等の運営資金の確保が必要です。
- 6 地域事業等を通じた収入源の思索が必要です。
- 7 母畑国営農地開発事業で開発された田・畑の土地の有効活用が求められています。
- 8 天然資源を活用した販売品の考案が必要です。
- 9 地区内外、町外への情報発信が必要です。

- 1 地区内人口はH30.4.1現在2,510人で、H21.4.1現在2,716人と比較すると206人の減

## 事業計画

計 画 1	歴史を活かした事業
目 的	地域の歴史的資産を活かした地域活動を、地域住民の意識高揚を図りながら展開し地域財産としての活用を図ります。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 藤田城跡整備</li> <li>2 和泉式部の里づくり</li> <li>3 県指定、町指定等の文化財、地区景勝地との地理的連携</li> <li>4 史跡学習と地域づくり意識の高揚</li> </ol>
実施状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 藤田城跡整備事業               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 目標                   <p>地域の歴史遺産である藤田城を復元することが、世代を超えた地域住民の交流の場となり将来地域の核となる。(花見の名所、散策、憩いの場等)</p> </li> <li>(2) 実績                   <ol style="list-style-type: none"> <li>①ハード事業                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柵、門、物見櫓の復元 (宮城大学生とのコラボあり)</li> <li>・ メンテナンス作業</li> <li>・ 城跡周辺整備 (草刈り等)</li> </ul> </li> <li>②ソフト事業                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤田城関連学習会の実施</li> <li>・ 視察研修 (角田市資料館など)</li> <li>・ 藤田城史編纂事業 (行政区とコラボ事業)</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>(3) 成果                   <p>地域づくりの核となる藤田城址整備事業に、多くの地区民の協力が得られ地域一体となった取組みができた。</p> </li> <li>(4) 課題                   <p>年4回の奉仕作業 (草刈等) に労力と費用がかかり、継続性に欠ける懸念がある。</p> </li> </ol> </li> <li>2 和泉式部の里づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実績                   <ol style="list-style-type: none"> <li>①和泉式部の里実行委員会による「美しいまちづくり事業」の実施                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種イベント交流事業 (桜・つつじ・藤の花見会、収穫祭)</li> <li>・ 浪漫街道回遊交流事業 (町内・隣接市町村)</li> <li>・ 芸術文化活動 (和泉式部物語語り部・恋文和歌コンクール・小和清水写真展)</li> <li>・ 小和清水環境周辺整備 (環境整備・直売所運営・親子環境教室、自然体験活動・東京いわき石川会との交流事業など)</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

<p>実施状況 (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②和泉式部物語絵本及びDVD制作、販売</li> <li>③視察研修（福島市内菅野様宅、6尺藤見学）</li> <li>④感謝祭の実施</li> <li>⑤藤棚イルミネーション設置</li> <li>⑥和泉式部パンフレット作成</li> <li>⑦和泉式部の里でファッションショーを開催</li> </ul> <p>(2) 成果</p> <p>小和清水の環境整備を通じて地区内各種団体との連携強化が図られた。</p> <p>和泉式部物語絵本及びDVD、和泉式部パンフレットの制作、作成により、県内外へのPR、広報活動が拡大、強化できた。</p> <p>(3) 課題</p> <p>年々、高齢化が進む中で、環境整備（刈払い等）が難しくなっている。（斜面などの地理的な要件のほか作業面積が多い。）</p> <p>班（隣組組織）別担当割りの協力体制が出来たが、班によって参加者にバラつきがある。</p> <p>(4) 対応策</p> <p>今後も地区民に協力を要請しつつ、急斜面等の危険箇所は役員で対応するほか、除草剤を活用し刈払い面積の縮小を図る。</p> <p>3 県指定、町指定等の文化財、地区景勝地との地理的連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①各史跡案内看板の作成、設置</li> <li>②遊歩道整備、植栽</li> <li>③案内看板の設置（JR野木沢駅前広場）</li> <li>④ウォーキングの実施</li> </ul> <p>三地区の史跡（藤田城、小和清水、禿山）を巡る遊歩道のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤散策マップの作成</li> </ul> <p>4 史跡学習と地域づくり意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①福島大学生徒による集落調査</li> <li>②塩沢地区内の山桜の確認</li> <li>③のぎさわときめき交流祭の開催</li> <li>④田んぼアートの実施</li> <li>⑤シンボルマーク作成</li> </ul> <p>のぎさわイメージキャラクター「ふじわちゃん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥宮城大学交流事業</li> <li>⑦ものづくり事業</li> </ul> <p>手芸品、工芸品制作教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑧しおざわ鉱石水整備</li> </ul>
-----------------------	--

計 画 2	自然を活かした事業
目 的	豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指します。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 禿山つつじ祭り</li> <li>2 禿山の公園の再生、整備</li> <li>3 秋の収穫祭</li> <li>4 農地の活用を柱とした地域振興活動(中山間地等直接支払事業等)</li> <li>5 母畑温泉観光客を呼び込める地域興しや産業(農業)興し事業</li> <li>6 母畑国営農地開発事業で開発された土地の有効活用と特産品づくり</li> <li>7 豊かな自然を活かした安全・安心な作物づくり</li> <li>8 高齢者の生きがいと健康保持・増進が図られる自然を活かした環境づくり</li> <li>9 野木沢駅・R118号等の交通利便性の活用</li> </ol>
実施状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 禿山つつじ祭り</li>   <li>2 禿山の公園の再生、 <ol style="list-style-type: none"> <li>①禿山公園環境整備</li> </ol> </li>   <li>3 秋の収穫祭 <ol style="list-style-type: none"> <li>①のぎさわときめき交流祭を開催 (H23～) (地区文化祭、野小フェスティバルと同時開催)</li> <li>②田んぼアート事業 (H24～)</li> </ol> </li>   <li>5 母畑温泉観光客を呼び込める地域興しや産業(農業)興し事業 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 空き店舗活用による加工所を設置 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実績 <ol style="list-style-type: none"> <li>①加工施設整備講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品加工施設整備講座</li> <li>・加工施設整備ワークショップ</li> </ul> </li> <li>②整備資金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県サポート事業補助金の利用</li> </ul> </li> <li>③建物の設計等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城大学学生に設計依頼 (宮城大学との交流・連携)</li> </ul> </li> <li>④運営体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品部会の会員による体制</li> </ul> </li> <li>⑤加工所の稼働</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

<p>実施状況 (つづき)</p>	<p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工所の立ち上げ方について学ぶことにより、経営理念や運営をどう展開するか等の経営目標を立てる機会を得ることができた。</li> <li>・ワークショップの開催により、地域の農産物を活かし、おふくろの味を基本とする加工品をつくり、販売していくことを確認した。</li> <li>・野木沢駅前の商店を借用できたこと及び県サポート事業補助金を利用できたことで、整備資金が軽減された。</li> <li>・加工所の設計及び施設整備の許可について、現役学生と共に取り組めたため、負担が軽減された。</li> <li>・メンバーが固定されていることで、運営体制が円滑である。</li> <li>・加工所の稼働により売れる商品づくりができるようになり、地域のPRにつなげることができた。</li> </ul> <p>(3) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代へ引継ぐことができるメンバーの開発をどのようにしていくか。</li> <li>・稼働から5年目の節目を迎え、純利益を効率的にえるための運営をどう展開していくかが重要な課題である。</li> </ul> <p>イ 簡易型直売所の開設（JR野木沢駅前）</p> <p>(1) 実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ミニ直売所開設</li> <li>②朝市の開催</li> <li>③惣菜の販売</li> <li>④各種イベントへの出店</li> <li>⑤郵送販売</li> </ol> <p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回のミニ直売所の開設により、特産品のPRができた。</li> <li>・加工所整備により定期的な朝市の開催に結び付いた。</li> <li>・冬期間に地域高齢者が求めている惣菜を販売することで、誘客に結び付けることができた。</li> <li>・県内外の様々なイベントで販売することで、地域での需要と県外で求められる商品に違いがあることを学んだ。</li> <li>・イベント販売から郵送販売に結び付いた。</li> </ul> <p>(3) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売れる商品開発</li> <li>・固定販売所の確保（道の駅など）</li> <li>・冷蔵による郵送となるためお客様の負担額が増えてしまう。</li> </ul>
-----------------------	--

<p>実施状況 (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要に結び付けるPR等をどうしていくか。ネット販売を模索しているが難しい。</li> </ul> <p>6 母畑国営農地開発事業で開発された土地の有効活用と特産品づくり</p> <p>ア 特産品（地場農産物による加工品）の開発</p> <p>(1) 実績</p> <p>①先進地視察研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特産物を商品化している直売所等の視察</li> </ul> <p>②販売研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品販売の手續及び食品衛生法(HACCP) 農業工程管理(GAP)</li> </ul> <p>③特産品開発研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消できる加工品の開発</li> </ul> <p>④試作品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生産されている農産物の調査及び 試作品づくり（野菜の佃煮、漬物、さつま芋等のスイーツ、コロケ）</li> </ul> <p>⑤試作品の試食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ときめき交流祭における試作品の試食及びアンケート調査を実施</li> </ul> <p>⑥開発メニューの検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売れる商品の検証を実施</li> </ul> <p>⑦商品化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品のパッケージ等の開発</li> </ul> <p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工に適した食材、消費者が求める商品について学ぶことができた。</li> <li>・食品衛生法に基づく製造加工するための施設の必要性和保健所の営業許可の取得が必要であることを学んだ。</li> <li>・レストラン経営者や菓子製造業者から地産地消できる農産物の活用法を学んだ。</li> <li>・月2回の試作品づくりにより、地域で生産されている農産物の需要、活用法を知ることができた。</li> <li>・試作品を地区民に食べてもらうことにより、商品化の可能性が見えてきた。また、アンケート調査により地区民が求めている商品を知ることができた。</li> <li>・宮城大生の協力のもと開発メニューの検証をしたことにより、売れる加工品の選定に結び付けることができた。</li> <li>・商品の装丁ラベルの開発を宮城大生の若い感性により作成することができた。</li> </ul>
-----------------------	---

<p>実施状況 (つづき)</p>	<p>(3) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地の直売所運営は、J A等がバックアップしている所が多い。地区独自での運営は可能か。</li> <li>・農家の多い地域内での地産地消の難しさをどう解決していくか。</li> <li>・他の地区で生産されていない農産物をつくり、売れる加工品づくりに結び付けることができるか。</li> <li>・他商品との差別化が出来る商品開発の難しさ。</li> </ul> <p>イ イチジク実証ほ（東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所設置）の管理</p> <p>7 豊かな自然を活かした安全・安心な作物づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①耕作放棄地活用によるイチジクの生産</li> <li>②耕作放棄地活用によるアート田の耕作</li> <li>③紫芋の生産</li> </ul> <p>8 高齢者の生きがいと健康保持・増進が図られる自然を活かした環境づくり</p> <p>ア 遊歩道整備（禿山～小和清水～藤田城跡）</p> <p>(1) 目標</p> <p>3行政区が一体となる事業を推進する。</p> <p>(2) 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ハード事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三地区の自然を活かした遊歩道の整備事業</li> <li>・史跡案内看板設置</li> </ul> </li> <li>②ソフト事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングの実施</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 成果</p> <p>3行政区の多くの区民が参加し交流の場ができ、一体となった取組みができた。</p> <p>(4) 課題</p> <p>持続可能にすること（3行政区の意識高揚）</p> <p>9 野木沢駅・R118号等の交通利便性の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①J R野木沢駅前に簡易型直売所を開設</li> </ul>
-----------------------	---



計 画 3	伝統を後世に伝え地域住民の交流を図る事業
目 的	地域の伝統を継承し、人と地域につながるの場と交流の機会をつくり、故郷文化の大切さを認識しながら後継者の育成を図ります。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各地区盆踊りの継承と後継者の育成</li> <li>2 各地区祭り</li> <li>3 盆踊り、祭礼等に関わる設備備品等の整備</li> <li>4 世代を超え相互交流ができる伝統行事等への取組み</li> <li>5 地域に残る伝説や民話、年中行事、俗地名等の調査や記録</li> <li>6 三地区公民館活動の継続・発展</li> </ol>
実施状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各地区盆踊りの継承と後継者の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>①櫓保存会による盆踊りの実施（中野 8/15、曲木 8/14）</li> </ol> </li> <li>2 各地区祭り <ol style="list-style-type: none"> <li>①子ども育成会による神輿渡御（三区 9 月第 2 日曜日）</li> </ol> </li> <li>3 盆踊り、祭礼等に関わる設備備品等の整備</li> <li>4 世代を超え相互交流ができる伝統行事等への取組み <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 野木沢駅前活性化事業 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 目標 野木沢駅前を地域の交流拠点とする。</li> <li>(2) 実績 <ol style="list-style-type: none"> <li>①ハード事業 ・イルミネーション事業</li> </ol> </li> <li>(3) 成果 イルミネーションのイベント実施により駅前商店街の活性化寄与できた。また、区民の交流が促進され老若男女参画の取組みに弾みをつけた。</li> <li>(4) 課題 企画立案が壮年層で行っている現在から、今後は中堅後継者育成に力を注がなければならない。また、参加率向上に向けた施策を取り入れないと、マンネリ化になる恐れがあり次年度の企画が重要になる。</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>5 地域に残る伝説や民話、年中行事、俗地名等の調査や記録</li> <li>6 三地区公民館活動の継続・発展</li> </ol>